



# TAYORI

## 盛岡支部版

第1号 発行：NPO 法人 HAHATO.CO 盛岡支部 ホームページ：www.hahato-co.jp お問い合わせ：info@hahato-co.jp

### 2014年12月の盛岡支部設立から、早くも半年が過ぎました。

毎月の定例会で企画を練って4月にスタートした「まなびのHIROBA」を皮切りに、7月には「通信制高校めぐり」、「楽しく読み書き♪タブレット体験」を開催。保護者も子どもたちも楽しみながら成長していけたらと思っています。

## まなびのHIROBA MORIOKA

### 4月スタート☆月2回

4月11日(土)にスタートした盛岡支部のまなびのHIROBA。

誰がどこの子で、誰がどの子の親か分からない空間。大人も子どもも混ざり合って活動しています。もともと「自分の子ども以外には寛容」な大人の性質？を利用したスタイル。気が付けば、わが子もよその子と同じように温かいまなざしで見えています。

基本のパターンは、目の体操(ビジョントレーニング)に始まって、おはなしの時間(ソーシャルスキルトレーニング)、タブレット学習、ことばゲーム(コミュニケーションスキルトレーニング)。

引っ込み思案だった子どもたちも、積極的に前に出て発表したりなど、子どもたちの変化が毎回楽しみです。



「まなびのHIROBA」は  
月に2回、土曜日 10:00~12:00  
アイーナで活動しています。  
発達の気になるお子さんをお持ちの方は  
よろしければご連絡ください。  
保護者の定例会・座談会にも、お気軽に  
お越しください。  
日程はホームページから確認できます。

### 7/8「通信制高校めぐり」という試み

集団生活や集団の中での勉強が苦手な子どもたちが、不登校や別室登校をしていたり、学校生活で苦痛を抱えていたりすることを、ご存知の方も多いと思います。

そんなご家庭のために、中学校の方でも、定時制や通信制を含む様々な進路の案内がなされていますが、PTA 主催の高校めぐりは普通高校ですし、同じような悩みを持つ保護者の交流の場もなかなかありませんので、情報源も少ないのが現状です。

様々な進路の選択肢があることを知り、同じような立場の人と交流を持てたらと考案したこの企画。

大人11名、中学生1名の参加で、徒歩と電車での移動。間に昼

食懇談会を設け、ちょっとした遠足のような会となりました。

「共通の想いを持つばかりなので安心して話せた」、「このような学校があるとは知らなかった」、「楽しかった」などの感想が表すように、次第に笑顔が溢れていったのが印象的でした。

昼食が釜飯のセットだっただけに、「同じ釜の飯を食べた者同士〜♪」と、ある会員お母さんが漏らしたほど。(笑)

今回は、「第一学院高等学校盛岡キャンパス」と「北日本高等専修学校」の2校を回りました。内閣府認定特区第1号の名蓬館高等学校や NHK 学園高等学校などネットを利用した広域制の学校や地元の県立杜陵高等学校、盛岡中央高校単位制の資料、その他の通信制高校の一覧も配布しました。

子どもたちの進路の選択肢の一つとして考えることで、親も子ども少しでも精神的にゆとりを持てたらと思います。

来年度以降も、保護者のご要望に応じて、企画していきます。気になるお子さんや保護者の方がいらっしゃいましたら、どうぞお伝えください。



←1校目 第一学院高等学校  
明るい、温かいという感想の多かった第一学院。  
上級生が下級生のサポートをするなど、心のケアを大切にしていました。

2校目 北日本高等専修学校→少人数で落ち着いて、でもひとり1人が授業中に声を発する機会を意識的に作るなど、熱心さが伝わりました。



←資料をご提供くださった学校のみなさま、ありがとうございます。

NPO法人HAHATO.COは、発達障がいなどにより集団生活に困りを抱えた子の母親たちが立ち上げた、自助・共助活動を行う特定非営利活動法人です。子どもたちの居場所作りや学習支援、ソーシャルスキルの向上の助けといったコミュニケーション支援、保護者に対しての相談や情報提供、社会への啓発活動を行い、子どもたちが自己肯定感の持てる自立した社会人に育つことを願って、母子だけでなく父親や兄弟姉妹とも関わりながら活動しています。

読み書きがちょっと苦手な子のための

# 楽しく読み書き♪タブレット体験

7月25日(土)盛岡アイーナ、7月28日(火)陸前高田市コミュニティホールにおいて、タブレット学習の親子体験会を開きました。

岩手大学のH27年度地域課題解決プログラムに採択されたことにより実現したこの企画。工学部の三輪研究室に開発してもらったアプリを通して、読み書きや計算を子どもたちに体験してもらいました。普段は勉強になかなか取り組めないというお父さんが、集中して問題をどんどんクリアしていくことに驚いたり微笑んだりしている親御さんいれば、せっかちな子どもの操作にイライラする親御さんいりましたが、「子どもが楽しんでいた」というのが共通する感想でした。

楽しいから学びたくなる、続けたいくなる。

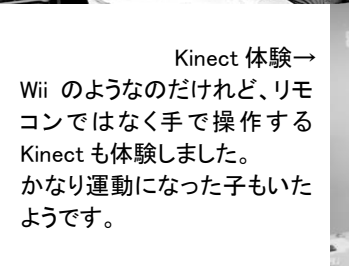
宿題やテストなど、ついつい子どもたちに義務として修行のように勉強をさせてしまいがちですが、「勉めることを強いる勉強」ではなく楽しんで学ぶことで学力を上げて欲しいと思います。

岩手大学三輪研究室が開発中のアプリは、パソコンやタブレットから、どなたでもご利用できます。

<岩手大学工学部 三輪研究室の読み書き連合学習支援ページ>  
<http://www.sp.cis.iwate-u.ac.jp/icampus/a/index.jsp?ud=1>  
HAHATO.CO のホームページからもリンクしています。  
<HAHATO.CO のホームページ>  
<http://www.hahato-co.jp/>



←タブレット体験  
三輪先生に説明してもらい、実際に操作してみました。画面は、ビジョントレーニングにも使用される点つなぎを、漢字に応用しています。



Kinect 体験→  
Wii のようなのだけれど、リモコンではなく手で操作する Kinect も体験しました。かなり運動になった子もいたようです。

# 「見る力」を育むビジョントレーニング

スマイルメガネ研究所 ビジョントレーニングインストラクター 鬼柳祥章

視力は良いはずなのに「見る力」に問題を抱え、力を発揮できない子どもたちがいます。学校で一般的に行っている視力検査は「遠方視力」ですが、それだけで「見る力」を測る事はできません。

あまり知られていませんが、「近方視力」というものがあります。近くをみるためには上手にピント合わせをしなければいけません。遠視のお子さんで近くの視力は良くなかったり、遠視でも目をしっかりと寄せてピントを合わせる事が苦手だったりすると、近くを精度よく見続ける事が他の子より大変だったりします。

また、先生が黒板に書く字をスムーズに眼で追ったり、読書の際に視線を素早くジャンプさせたりすることが苦手な場合も、「見る」ことにおいて困難が生じます。

残念なことにこのような問題が発見されず、「うちの子は集中力が無い」「勉強が嫌いで・・・」「運動オンチで・・・」と言った言葉で片付けられてしまう事も少なくありません。「なんでできないの!」「もっと集中して勉強しなさい!」という言葉が、「一生懸命頑張っているのに・・・」「どうせ僕なんか・・・」と、自信の喪失に繋がってしまう場合もあります。

問題の原因はひとつとは限りませんが、それらの一部が「見る」ことである場合、視覚情報処理の検査等を実施し適したビジョントレーニングを行うことで、改善されることがあります。また、眼鏡や環境調整によるちょっとしたサポートで、持っている力を発揮しやすくなることもあります。もちろん疾患等に関しては改善しませんので、眼科の先生にご相談ください。

今回は主に「見る力」の「入力機能」に関する部分を書きました。が、視力、両眼視機能、眼球運動機能などの「入力機能」の他に、情報の理解、記憶、操作、空間の認識などの「視覚情報処理機能」、字を書いたり、ボールをキャッチしたりといった、体との協調の部分の「出力機能」などの視覚機能があり、それぞれが生活場面、学習場面において大切な役割を果たしています。

参考資料:「ちゃんと見ているかな?」(北出勝也著)、「発達の気になる子のビジョントレーニング」(北出勝也監修)

## 困りを抱えた子どもたちの 保護者・支援者勉強会

を9月より開催します!

会員:1,500円 非会員:3,000円 申込:各会1週間前まで  
※イベントの確認や申し込みはホームページからできます。

<p>9 / 14 月 アイーナ 501A 【保護者対象】(先着 45名) 幼児期に現れる特性と 個々に合わせた発達の支援① 岩手県発達障がい者支援センター ウィズ 佐藤友紀先生</p>	<p>10 / 9 金 アイーナ 809 【保護者・支援者対象】(先着 18名) 視覚機能の観点からの支援 見え方の違いと対応 ビジョントレーニングインストラクター 鬼柳祥章氏</p>	<p>11 / 9 月 アイーナ 501A 【支援者対象】(先着 45名) 幼児期に現れる特性と 個々に合わせた発達の支援② 岩手県発達障がい者支援センター ウィズ 佐藤友紀先生</p>
---	--	---